

## CRE、埼玉・所沢で新物流施設の開発着手

Edited By LogisticsToday On 2015/02/16



シーアールイー（CRE）はこのほど、埼玉県新座市で賃貸用物流施設「ロジスクエア新座」の開発に着手した。用地は取得済みで、同社が事業主体として開発を進め、2017年5月の竣工を目指す。

ロジスクエア新座は敷地面積1万5395平方メートル（4657坪）、地上4階建てで倉庫部分は3層構造。延床面積は2万5000平方メートル（7562坪）となる。関越自動車道所沢ICから2キロと近く、国道254号線（川越街道）、浦和所沢バイパスも大型車でアクセスしやすいロケーション。

建物は高床式プラットフォーム、倉庫階の床荷重は1平方メートル当たり1.5トン、梁下有効高さ6メートル以上、庫内照度300ルクスを確保し、汎用性の高い施設として計画を進める。

LED照明や高輝度蛍光灯の採用、緑化駐車場の整備など、環境や省エネルギーに配慮した施設計画により、CASBEE 埼玉Aランクの取得も計画している。

同社は現在、テナント企業を募集しているが、早期に利用を決めた場合、テナント企業の個別ニーズにも対応する方針。昨年5月に発表した「ロジスクエア久喜」に続き、CREにとっては5件目の物流施設開発案件となる。

### ■「ロジスクエア新座」開発プロジェクト概要

施設名称：ロジスクエア新座

所在地：埼玉県新座市中野1-

敷地面積：15395.54平方メートル（4657.15坪）

主要用途：倉庫（倉庫業を営む倉庫）

建物構造：構造未定地上4階建て（倉庫部分は3層）

延べ面積：25000平方メートル（7562.5坪）

着工：2016年5月

竣工：2017年5月

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>  
URL to article : <http://www.logi-today.com/147385>  
Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.